

---

# 異を唱える

アミバ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

異を唱える

### 【著者名】

アミバ

N2607F

### 【あらすじ】

無料で登録でき、小説を投稿できる便利なサイトで活動していた少年はある日、真実を知り現状を変えるべく行動を開始する異端ストーリー

## 明らかに中二病患者

「アバに失敗は許されない」

志し半ばで散つていくア達。

「まだだ……まだ死ねるか！」

「ケータイ小説による今までの小説の根絶！俺達がそれをなす……」  
「そうだ！俺が！俺達がアミだ！！」

かつて高らかに叫んでいたアバ達が逆に根絶された。

しかし、それが終わりではなかつたのだ。

そして、今。新たなアミバが動こうとしていた。

第一話  
「アミバ」

小説ブーム。いや、ネット小説ブーム。若者を中心に広がり始め、既存の小説の基盤を覆した出来事だ。

発端は電 男の書籍化それに次いで自称、純愛小説の小説化だろう。

インターネットの世界には無料登録で誰でも作品が投稿出来るサ

イトが星の数ほど設立されていた。

「よし。投稿完了」

ある日、何時ものように小説サイトを少年が眺めていると信じられない事実を見つけてしまった。

それは、書籍化されてもおかしくない本格的な小説を書いている（と妄想している）自分よりも明らかに文法がめちゃめちゃなケータイ小説が高い評価を得ているという事だ。

「馬鹿な……こんな小説の何処がいい？」

少年はやるせない思いと行き場のない怒りに苛まれ唇を噛み締めていた。

パソコン画面の前で打ちのめされていた少年はある決意をした。

「俺が……俺がこんな現状を変えてやる！ そうだ！ 正しいのは俺だ！」

何を持つて正しいと妄信するのかは知らんが、少年はすぐに行動に移した。

掲示板や御用達のチャットでアバというハンネを使いランキングの現状や評価の現状がおかしいと訴えかけた。

その結果……。

「うぜえ WWW」

「おまいの小説の方がカス」

「迷惑なんで消えてください WWW」

「プロ（笑）の方ですね。解ります（禿）」

等の文字が画面一杯に躍っていた。

「まだだ……まだ死ねるか！」

どうしてそこまでイレ込むのかもはや理解不能の領域だが、少年は止まらない。

かつてアバ達はケータイ小説を奨励したから凸された。ならば自分はケータイ小説を否定する。

「そうさ、何時だって正しいのは俺だ！！」

だから何を持つて正しいと思つかは定かではないが、この物語は一人の少年がネットという大きすぎる世界に飛び込んでいく物語である。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2607f/>

---

異を唱える

2010年10月31日01時32分発行